

第4号様式（第10条関係）

会 議 録 （要 旨）

会 議 名	平成26年第1回武蔵村山市廃棄物減量等推進審議会
開 催 日 時	平成26年11月20日（木）午後2時00分 ～3時15分
出 席 者 及 び 欠 席 者	出席者：野田浩二、諸江大、池田まさ子、菊地茂、牧一彦 小野吉雄、菅原典子、吉澤幹郎、峰岸宏幸 欠席者：西田勇 事務局：廃棄物・下水道担当部長 環境課主査（ごみ対策グループ） 環境課主任（ごみ対策グループ）
議 題	1 武蔵村山市一般廃棄物処理基本計画の修正について
結 論 (決定した方針、残 された問題点、保留 事項等を記載す る。)	議題1について 市長からの諮問を受け、廃棄物減量等推進審議会で「武蔵村山市 一般廃棄物処理基本計画」の修正について審議し、修正案のとおり 決定し、その結果を答申することとした。
審議経過 (主な意見等を原則 として発言順に記 載し、同一内容は一 つにまとめる。)  ●=委員 ○=事務局等	議題1 武蔵村山市一般廃棄物処理基本計画の修正について ○ 武蔵村山市一般廃棄物処理基本計画の修正案について説明。 【主な意見等】 ● 第5章の修正案に記載されたそれぞれの中間処理施設の処理能 力は、現状に合わせ、考慮して決められたものなのか。 ○ 処理能力については、今後の小平市、東大和市及び武蔵村山市 の3市の今後のごみ排出量の見込み等を考慮して算出したもので ある。 ● 3市共同資源物処理施設については、地域住民の反対の声が大 きいと聞くが、どのような進捗状況なのか。 ○ 3市共同資源物処理施設の進捗状況については、地域住民の代 表者等で組織する3市共同資源物処理施設整備地域連絡協議会で 施設整備についての協議を行っているところであり、3市共同資 源化事業の基本構想については、3市市民向けの説明会を3市で それぞれ設け、説明を実施してきたところである。今後について は、施設の景観や環境影響調査等に関する協議を行う予定であり、 地域住民の理解を得るよう、引き続き施設整備地域連絡協議会で の協議を進めていきたい。 ● 不燃・粗大ごみ処理施設を小平市に設置することによる、影響

	<p>や設置条件等は、なかったのか。</p> <p>○ 具体的な条件等の提示は無いが、小平市清掃事務所跡地を利用することから、調整をしている段階である。</p> <p>● 処理施設の更新は、稼働しながら、進めていくのか。 空いている土地に、新しい施設を建てて、稼働できるようになったら、古い施設を取り壊すというような流れなのか。</p> <p>○ 稼働しながら進めていく。併設し、空白の期間をつくらず、進めていく予定である。</p> <p>● 3市共同資源化事業基本構想の説明会は、何名程度の参加者が来たのか。</p> <p>○ 小平市は9名の方が参加、武蔵村山市は、参加者はいなかった。東大和市は、30名程度の方の参加があった。</p> <p>● 収集方法については、変える必要があるのか。</p> <p>○ 現在、武蔵村山市は、容器包装プラスチックとペットボトルを一緒に回収しているが、3市共同資源化の施設が稼働した際は、容器包装プラスチックとペットボトルをそれぞれ分けて回収する必要がある。</p> <p>第1回廃棄物減量等推進審議会において、修正案のとおり決定し、答申することとした。</p>
--	--

<p>会議の公開・ 非公開の別</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>公開  <input type="checkbox"/>一部公開  <input type="checkbox"/>非公開  ※一部公開又は非公開とした理由</p> <p>傍聴者： _____ 0人</p>
-------------------------	---

<p>会議録の開示・ 非開示の別</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>開示  <input type="checkbox"/>一部開示（根拠法令等： _____）  <input type="checkbox"/>非開示（根拠法令等： _____）</p>
--------------------------	---

<p>庶務担当課</p>	<p>生活環境部                      環境課（内線：292）</p>
--------------	---